

緑化だより

No.104 平成27年4月号



サクラ“陽光”

- 緑化センターの希少な樹木(12)
- 野鳥の世界(カラス)
- モクレンの仲間
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内



生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL
<http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

緑化センターの希少な樹木

No. 12 イチイガシとウワミズザクラ

イチイガシの語源は、カシ類の中でも材が緻密で最も材質が良いことから一位櫨という説もあり、また一番よく燃えることから一火櫨という説もあります。どんぐりは渋みがなく、あく抜きせずに食用にできます。カシの仲間は似たものが多く同定は簡単ではないのですが、そんな中でイチイガシは一度特徴をつかめば同定が容易になります。他のカシ類では葉の裏が毛で覆われることは少ないのですが、イチイガシは葉の裏に白褐色の綿毛が密生していて、それがずっと後まで残ります。落葉でもそれが確認できます。見本園の和風庭園の下のほうにあります。

ウワミズザクラの花は、試験管やコップを洗う細長いブラシのような形をしています。とてもサクラの仲間とは思えない形ですが、近寄って一つ一つを見ればサクラの花だと納得できます。古代の占い道具に本種の材が使われ、上面に溝を掘ったことが名前の由来だと言われています。果実は食用になります。また、本種を杏仁子（あんにんご）と呼び、つぼみを塩漬けにして食べる地方もあります。薬草園の下の谷にあります。（川上）



イチイガシ



ウワミズザクラの花

野鳥の世界

カラス

カラスにはハシブトガラスとハシボソガラスがいて、ハシブトガラスは山中や山里に多く、ハシボソガラスは市街地や里山を中心に活動します。両種は近接しても入り乱れることはないようです。外見は同じように見えますが、ハシボソガラスは、頭上が平たく、鳴き声は“ガーガー”と濁った声、ハシブトガラスは、前頭がもっこりとして“カーカー”と澄んだ声で鳴きます。

カラスは大型の鳥に似合わず、トビに負けないくらい活動的です。仲間同士のコミュニケーションも頻繁でよく発達しています。共同して餌を狙ったり、他の野鳥を襲うこともしばしばです。記憶力が良く、知恵も働くため、他の野鳥から警戒されることも多いのです。

カラスは雑食性が強く、生ごみ、動物の死体、樹木の種子をはじめ、初夏の繁殖期には鳥の巣を襲いヒナ鳥を襲うこともあります。カラスの繁殖期は早く、早春の



ハシブトガラス



ハシボソガラス

枯木の高い位置に営巣します。ヒナの数も多く、育ち盛りのヒナは親鳥の給餌時には大騒ぎをします。親鳥は大量の餌を確保するためにも様々なものを餌にするのでしょうか？（吉見）

モクレンの仲間

モクレン属は約90種類あり、タムシバ、コブシ、ホオノキ、モクレン、オオヤマレンゲ、タイサンボクなどがよく知られています。花の時期はそれぞれ違います。又、常緑のものや落葉のもの、葉の大きさなど樹種によって違いがありますが、ほかの植物とは違った、この仲間に通じた大きな特徴があります。それは花の構造です。

この仲間は、甲虫(コガネムシなど)により受粉が行われるため、甲虫を誘い込むように発達しました。昆虫は蕾にもぐりこみ、体に花粉をつけ、別の花に移り受粉の媒介をします。雌しべは、虫が動き回っても壊れたり、食われたりすることがないように丈夫なつくりになっています。中心に丈夫な柱があり、それに雌しべがらせん状についています。花は自家受粉を避けるため、雌しべが先に成熟した後、周辺の雄しべが成熟します。

モクレン科の植物は、北アメリカ東部から南アメリカ北部と、太平洋をはさんだ日本、中国東南部、東南アジアに分布しています。これは、何億年も前に大陸にあった植物が、大陸の分離、移動にもなつて現在の分布となったことを証明しています。又、導管がなく仮道管であること、花の構造が古い形態を残していることなどから、被子植物の進化の過程を知る上でも貴重な植物です。

モクレン属の植物は昔から生活に密着しています。コブシやタムシバは、春に先駆けて咲き、この時期を目安に農作業の準備を始めました。又、生薬の辛夷(しんい)は、蕾を乾燥したもので、鼻炎の薬として利用されます。ホオノキは、材が柔らかいため、日本刀の鞘、版木や鉛筆の軸、まな板などに使用されます。樹皮を日干しにした生薬の厚朴(こうぼく)は他のものと配合して、せきや神経性胃炎の薬として利用、又葉は芳香、抗菌作用があるため、食材を包んだり、朴葉焼など郷土料理の材料として利用されます。(山根)



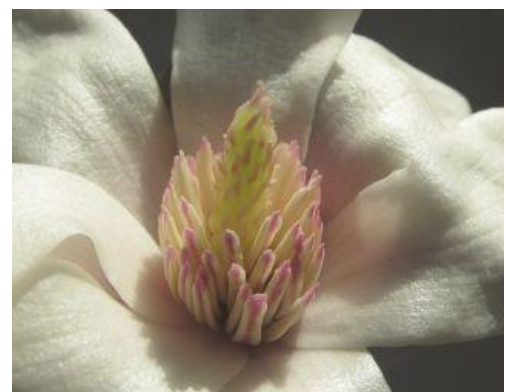
山の中のタムシバ



ホオノキ



シモクレン



コブシの雌しべ・雄しべ

研修会のご案内

- | | |
|--|---|
| ○ 4月 5日(日) 『4月の自然探勝』
今日はどんな花に出会えるかな?
自由参加 (無料) | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師: 植物研究家
清藤 徹 |
| ○ 4月 19日(日) 『山菜教室』
山菜とその料理方法を学び、試食します。
※ 要予約(先着30名) 無料 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師: 森林インストラクター
横田 登美子
長井 稔 |
| ○ 4月 23日(木) 『八重桜めぐり』
遅咲きの八重桜を見て歩きます。
自由参加 (無料) | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師: 緑化センター職員
川上 嘉章 |
| ○ 5月 2日(土) 『5月の自然探勝』
山の緑について考えてみよう。 | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師: 環境省希少野生動植物
種保存推進員
吉野 由紀夫 |

♪☆ご案内・お知らせ☆♪

◎ 展示会のご案内

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・趣味の手作り作品展

~4月30日(木)

(ボード展示)

・絵手紙作品展

~4月30日(木)

場所:緑の相談所

・緑化センターの桜写真展

~4月26日(日)

お知らせ

~春のおでかけキャンペーン~

3月14日(土)~5月24日(日)

緑化センター・森林公園

両園でスタンプを集めて景品ゲット!

・さくら祭り

3月28日(土)~4月26日(日)

さくらクイズラリーに挑戦し、
プレゼントをもらおう

・さくら祭りお楽しみイベント

4月12日(日) 10:00~15:00

レストハウス前広場

・みどりの集い

4月29日(水・祝) 10:00~15:00

多目的広場



趣味の手作り作品展より



絵手紙作品展より